

地域連携パスのイメージ



もし病気になったら？

糖尿病

悪性腫瘍

難病

骨折

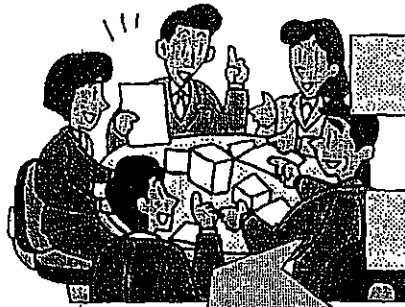
脳卒中

急性期

病気ごとに経過や治療・看護・サービスは異なる！

医療

包括ケアシステム



◎必要なサービスの体系化

◎各種サービスの効率化

回復期

介護

保健

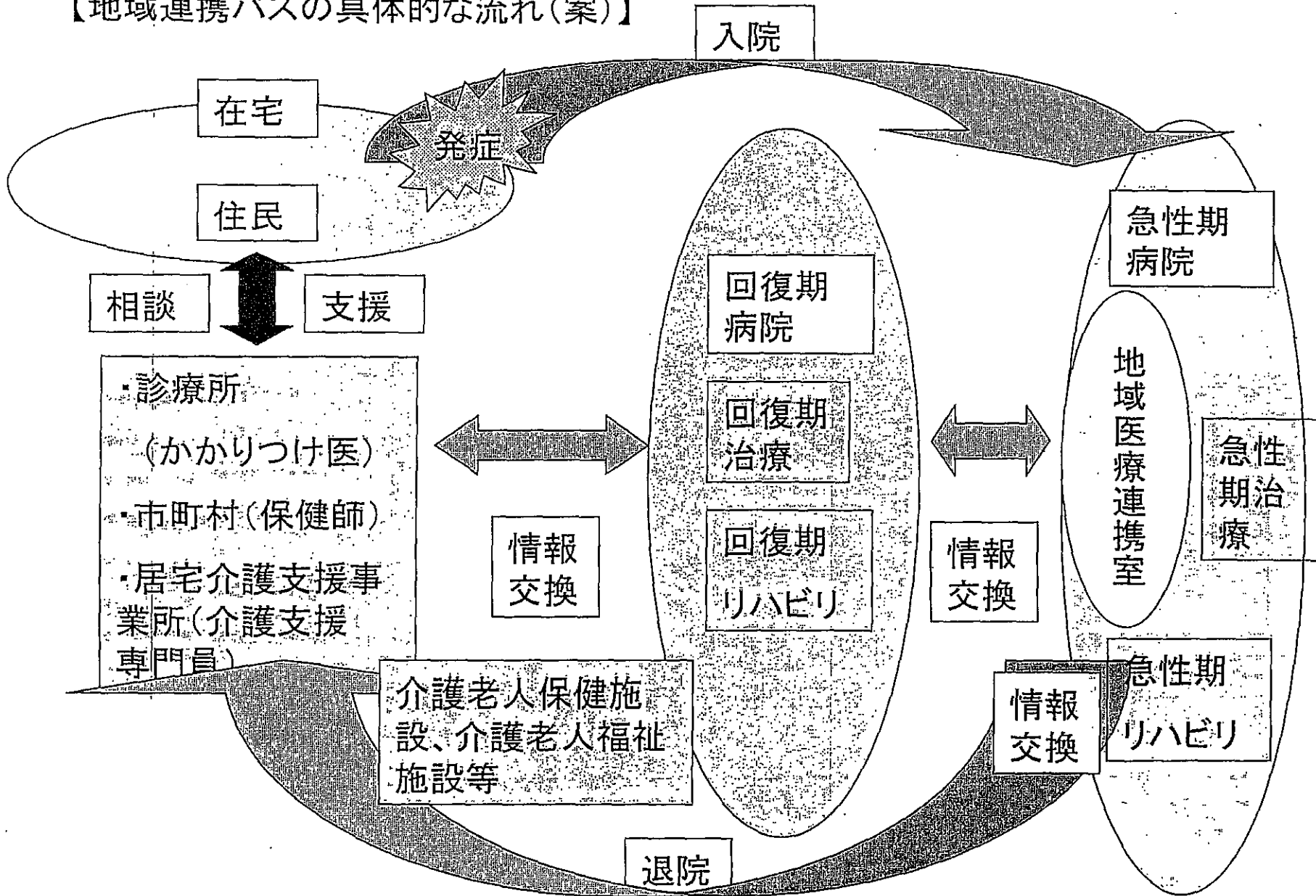
維持期

地域連携パスの標準化モデルを提供

「地域連携パス」
定義

急性期から慢性期に至る医療機関の連携パスを地域まで延長し、保健・福祉のサービスを連動させるもの

【地域連携パスの具体的な流れ(案)】



地域連携クリティカルパスの概要

1 医療機能分化推進事業の実施

毎年、医療機能分化推進事業を実施して、県内の医療機関に地域連携クリティカルパスの実践について研究してもらっている。

その結果は、以下のとおり。

(1) 猿島赤十字病院

- ア 地域医療連携室の設置
- イ 地域連携クリティカルパス作業部会の開催
- ウ 医療者用クリティカルパスの作成
- エ 患者用クリティカルパスの作成
- オ 医療者用フローシートの作成
- カ 患者用フローシートの作成
- キ 技術チェックシートの作成
- ク 導入クリティカルパス専用指示書の作成
- ケ 採血伝票の作成
- コ 栄養指導依頼書の作成
- サ 管理指導用紙の作成
- シ ビデオによる教育指導の実践
- ス 患者向けパンフレットの作成
- セ 入院費用表の作成

(2) 水戸済生会総合病院

地域医療連携室の設置・運営 等

2 地域医療支援病院研修会の実施

昨年度から、地域医療支援病院研修会を実施して、県内の代表的な医療機関から地域連携クリティカルパスの実践について報告してもらっている。

その結果は、以下のとおり。

筑波メディカルセンター病院

- ア 共同診療カードを使用した共同診療システムの導入
- イ 「私の健康手帳」の利用
- ウ 電子カルテ等による診療所・病院－在宅ケア施設－調剤薬局間の患者ネットワーク構築を模索中